

1. 本分科会における「情報リテラシー」とは

・・・下記の目標を満たすもの（慶應義塾大学を参考*）

- ① 情報リテラシーとは何かを知り、その必要性を理解する
- ② 情報の生成と流通について理解し、媒体の理論と特徴を理解する
- ③ 図書の見つけ方と入手方法を理解する
- ④ 雑誌記事の見つけ方と入手方法を理解する
- ⑤ 新聞記事の見つけ方と入手方法を理解する
- ⑥ その他の情報源を知る
- ⑦ インターネット上の情報源を活用する
- ⑧ 情報を評価する
- ⑨ 情報を活用する

2. 「情報リテラシー教育」対象者（学生）の理解度を確認

高校生まで

教科名：「情報 A、情報 B、情報 C」（2002 年より選択必須）

内容 パソコン操作重視

体系的理解、応用力に欠ける傾向あり

課題 履修内容や習熟度にバラツキ

以上を踏まえて、大学では

『どの学問分野にも共通する情報収集、評価、活用の基礎的技術』
『全ての学生に指導』
が必要！！

←初年度（初年度教育）
に行うのが望ましい？

3. 事例確認

- ① 「授業組込型」情報リテラシー教育
- ② 「正課授業型」情報リテラシー教育
- ③ 「図書館企画型」情報リテラシー教育

← 3つを連携して提供することで、全ての学生に情報リテラシー能力を平等に行き渡らせることができる？！

4. 今後の研究目標

情報リテラシー教育のモデルを作成。特に「正課授業型」情報リテラシー教育を中心に考察する予定。

*参考文献

「わが国の大学図書館における情報リテラシー教育に関する考察」大城善盛著『大学図書館研究』72 巻 p13-14